

国際交流

1997年 9月30日創刊

2022年 3月31日発行(第44号)

二松学舎大学国際交流センター

〒102-8336東京都千代田区三番町6-16

Tel: 03-3261-5751

◆目次◆

①二松学舎大学と海外の大学との協定締結……………	1	⑧2022年春期オンライン短期海外語学研修(英語圏)実施報告	
②2021年度派遣留学修了報告		文学部3年 朝倉 藍乃	
文学部4年 菅生 ひかり(英国 バッキンガム大学) ……	2	(アメリカ サンフランシスコ州立大学) ……	10
国際政治経済学部4年 武田 凜(韓国 成均館大校) ……	5	⑨2022年春期オンライン短期海外語学研修(韓国語圏)実施報告	
③2021年度外国語課外講座(英語・韓国語)報告……………	7	文学部3年 尾楠 真帆(韓国 高麗大校) ……	11
④2021年度グローバルラウンジ(交流会)報告……………	8	⑩新型コロナウイルス感染症にともなう	
⑤2021年度浙江外国語学院オンライン交換留学プログラム報告	8	入国制限および海外派遣留学の状況について……………	12
⑥2021年度オンライン英会話レッスン(協賛型研修)報告……	9	⑪国際交流センターからのお知らせ	
⑦2021年度夏期オンライン短期海外語学研修(英語圏)実施報告		(センターの動画紹介など) ……	12
国際政治経済学部2年 島田 幸志郎			
(オーストラリア サザンクロス大学) ……	10		

二松学舎大学と海外の大学との協定締結

2021年度に中国にある大学と協定を締結しました。

德州学院(中国) / 河北科技大学(中国) / 聊城大学(中国) / 紹興文理学院(中国)

德州学院(中国)

1971年に設立された「德州師範専科学校」を前身とし、1998年、国家教育委員会の認可を得て、「德州教育学院」及び「德州市社会人大学」と合併し、「德州師範高等専科学校」に昇格したのち、2000年、高等教育機関として「德州学院」に昇格しました。山東省德州市に立地しており、政治・法学、教育学、文学・新聞メディア学、歴史・社会管理学、外国語、美術学、工学を含み、3万人以上の学生を持つ総合大学です。



河北科技大学(中国)

1996年に河北軽化工学院、河北機電学院、河北省紡績職員大学が統合して設立された総合大学です。河北省の主力産業となるハイテク産業に特化した工学系の学部が主となるが、文学部(法学、人文社会科学等)、外国語学部等を有して3万人以上の学生が石家庄市校舎で勉学を励んでいます。



聊城大学(中国)

現代的な学科体系の構築を重視し、研究開発に力を注ぎ、山東省における外国語、グローバル人材育成、国際経済、国際関係学など多岐の研究分野にわたる山東省の重点総合大学です。総学部数は22、36専攻を開設しています。約5万人の学生が聊城市校舎で学んでいます。



紹興文理学院(中国)

浙江省の紹興市は紹興酒で知られる悠久な歴史を持つ地方都市であり、書道の聖地、魯迅の故郷としても有名。1909年に創立され、紹興市の中核大学として、学生数約2万人、人文科学系と自然科学系の学部を保有する総合大学です。また、書道学部を設置する特色ある大学として「書」の世界をリードしています。



2021年度 派遣留学修了報告



英国 バッキンガム大学

文学部 国文学科4年
菅生 ひかり

1. 留学を終えた感想

この留学での一年は、今までのどの一年よりも濃密で、大切な時間となりました。初めて一人で日本を出て、海外で生活することに大きな不安を抱えていましたが、毎日努力を積み重ねることで少しずつ恐怖も消え去り、自分が異国の地で強く生きていることに自信を持てるようになりました。以前は大きなチャレンジを避けて通ってきましたが、留学生活終盤には、すべて一人で計画してイギリス中を飛び回り、旅を通して色々な体験をできるくらいにまで成長できました。好きな映画の撮影場所や憧れのミュージシャンの聖地など、ずっと行きたかった場所を巡ることもできて後悔はありません。言語や文化の違いに悩んで、寝る間も惜しんで勉強に励み、世界中から集まった学生と友だちと語り合うという、こんなにも新鮮な時間を過ごす機会は今二度とないかもしれません。ロックダウンを二度も経験したこと、プレゼンテーション前日にパソコンが壊れたこと、心の支えだった猫が交通事故で亡くなったことなど、予想外の困難にも何度も直面しましたが、それらを乗り越えた今、私は出国前の何倍も強くなることができました。ずっと憧れていた国で生活し、勉強できたことは何にも代えられない経験です。この経験は、二松学舎での今後の学習や、その先の将来にも活きると確信しています。

2. 留学を決めた理由

将来日本語を母国語としない人に日本語を教えるとい



お世話になった先生とロンドン市内にて買い物

う目標があり、そのために他の言語を理解する必要があると考えました。また、自分がマイノリティな立場になる環境で一から現地に適応して生活してみたいという気持ちもあり、留学をしようと決意しました。憧れの国であるイギリスの大学が提携校にあったことが極めつけでした。国文学科から英語圏への留学は珍しく、難しいようにも思えますが、自分の大好きな国で勉強できることはモチベーションの向上にも繋がると思ったので、迷いはありませんでした。「日本語学専攻だから英語圏留学は無理だ」などという先入観に囚われずに決意してよかったと思っています。自分の学びに直接関係していないように見えても、学ぶことはたくさんありました。専攻分野、資格コース、教職課程、そして留学、どれも妥協せず挑戦できて大学生活が充実しています。

3. 留学先の学び・学習内容(どのようなプログラム、授業の内容、宿題、クラスメイト、先生についてなど)

ファウンデーションコースというコースで勉強しました。コースの学生はほとんどネイティブの学生か、英語が堪能な留学生だったので、最初は授業についていくのがやっとでした。授業内容としては、大学生に必要なアカデミックスキルを鍛える授業から、イギリスの歴史や国際関係を学ぶ授業、そして私が二松で勉強している内容に通ずるような映画の授業まで、幅広い分野を学ぶことができました。英語を学ぶのではなく英語で何かを学ぶことで、実用的な英語力が鍛えられました。チュートリアルという少人数クラスでのディスカッションがあるので、それに向けた準備や課題のために毎日ほとんどの時間を勉強に充てました。課題やエッセーの量が多く、みんな寝る間も惜しんで勉強をしていました。そして日本の大学と違い、学生主体で授業が進むことが多かったです。プレゼンテーションやディバートを通し、自分の



大学のスタッフさんとキャンパスにて

意見を持つこと、そしてそれをまとめて発信する力が身に付きました。バッキンガム大学は少人数での授業が特徴的で、発言の機会が多く大変でしたが、その分一人ひとりに対するサポートが手厚く、安心して授業に臨むことができました。教授に頑張りを認めてもらい、良いグレードをもらうことができたときの達成感は忘れられません。クラスメイトも、私の英語力を見下したり馬鹿にしたりは一切せず、みんな優しく助けてくれました。今ではかけがえのない友人です。

4. 留学先の魅力や出会った人たちとの思い出

バッキンガム大学のキャンパスは、自然に囲まれた静かで綺麗なキャンパスです。小さな大学ですが国際色豊かで、世界中から集まった学生と友達になれます。最初は初めての海外生活に不安がありましたが、のどかな街だったのですぐに慣れ、安心して生活できるようになりました。キャンパス内で様々な動物に出会ったり、勉強に疲れたら川沿いを散歩したり、東京では味わえない楽しさもありました。街の人たちはとても優しく、スーパーで話しかけてくれたりしました。治安がいい地域で安心して生活することは、学習への集中にも繋がります。大学の職員さんもみんな親切で学生思いです。勉強のことだけでなく、海外から一人で来た私のことを心配して毎日のように連絡をくれました。クリスマスプレゼントをくれたり、一緒にご飯を食べたり、いつも支えてもらいました。今ではバッキンガムは大好きな場所で、また訪れたいと思っています。

5. 現地での生活について（宿泊先や研修先の雰囲気、一日のスケジュール、週末の過ごし方など）

キャンパス内の寮で生活していました。寮では約4人でキッチンや浴室を共用し、一緒にご飯を作ったりして仲を深めました。常に他の学生の顔が見ることができる環境だったので安心できました。世界各国から集まった人と共同生活をするのは、大変なことももちろんありますが、その分学ぶことも多くありました。お互いの国の料理を振る舞い合ったことは良い思い出です。

授業時間以外のほとんどは、基本的に自習に時間を費やしました。フラットメイトに課題の添削をしてもらうこともありました。余裕のある週末には、隣町のショッピングモールに買い物に行ったり、長期休みには友達とパブでフットボールの試合を見たり、ゲームをしたりもしました。大学は小さく、寮に住む学生も多かったので、一歩部屋の外に出ればたくさんの学生と話すことができました。そんなキャンパスのフレンドリーな雰囲気が大好きでした。ロックダウン中は孤独感に襲われることもありました。パンデミック下で制約のある中で十分にイギリスでの生活を満喫できました。

6. 留学で成長した点

最初は自分の英語力に自信がなく、コミュニケーションを取ることが怖いと感じていました。しかし、友だちに自分のことをもっと知ってほしいという気持ちや、相手のことをもっと知りたいという気持ちを持つようになってから、積極的に会話を楽しめるようになりました。間違いを恐れず、伝えようという意思を優先することで、次第に友だちも増えていきました。授業では日本について教えられることが多く、自分が日本代表として発言しなくてはいけないことが何度もありました。自分が思っているよりも日本について何も知らないことにショックを受け、改めて自分の国について深く考える機会になりました。今までは日本にいて、同じ文化を共有する人に囲まれて生きてきたので、イギリスに来て自分がマイノリティな立場になったことで、初めて「日本人である自分」を強く認識しました。このような経験は留学でしか得られない貴重なことだと思います。また勉強面だけでなく、行動力も身に付きました。留学中はすべて自分から動かなければ何も始まらないし、トラブルが発生しても自分で解決するしかありません。そして日本語を話してくれる人は誰もいません。そういった環境が自分の行動力を引き出し、どんなことにも勇気をもって、そして冷静に対処できるようにな



大学の友人とレストランにて



ビートルズ像と私



イギリスで最も高い崖 Beachy Head にて



世界一有名な横断歩道 Abbey Road 横断中



Liverpool の Strawberry Field にて

りました。新しい友達を作ることも簡単なことではありませんでしたが、少し勇気を出して誰かに会いに行ってみると、そこからどんどん出会いが広がりました。また、カフェで難しい注文を試してみたり、店員さんに話しかけてみたり、小さな勇気の積み重ねとそれを達成したときの喜びの繰り返して、私は大きく成長できたと思います。

7. 留学する前に準備しておけばよかったこと

もっとスピーキングの練習をしておけばよかったなと思います。スピーキングは現地に行ってしまうと勝手に伸びるものだと楽観的に考えていましたが、簡単な日常会話レベルはしっかりできるようにしておくべきでした。また、6で書いたように、日本について聞かれることが授業でも日常会話でもたくさんあります。最低限の知識は頭に入れておいたほうが良いと思います。私は授業での発表のために、わざわざ日本から本を取り寄せて日本の政治について勉強し直したこともありました。

8. 留学前の自分に伝えたいこと

留学前の自分には、一番にありがとうと伝えたいです。やりたいことが多く、教職課程や資格コースも取っていて多忙だったので、さらに留学をすれば失うものもありました。しかしそこで諦めず、やりたいことに妥協せず突き進んだことに感謝しています。

9. 留学のおすすめポイント+留学を検討している後輩へのアドバイス

日本国内で英語の勉強をする手段はいくらでもあります。しかし実際に現地で生の英語に触れ、現地の人と同じ空気を吸って生活できることは留学でしかできない経験であり、それだけで価値はあります。この一年を振り返ると、大変なことばかりでしたが、一つひとつの問題を解決したときに得られる成長が、日本国内での倍以上のものでした。そういう環境に自分の身を置いてチャレンジすることは、誰もができるわけではない貴重な経験だと思います。英語力を伸ばすためという理由ももちろん大事ですが、自分の限界を知ったり、自分の好き嫌いに改めて気が付いたり、人間として成長するためにも留学は絶好のチャンスです。ぜひ一歩踏み出し、このチャンスを掴み取ってください。



Brighton のバス停で黄昏れ中



韓国 成均館大学校

国際政治経済学部 国際経営学科4年
武田 凜

1. 留学を終えた感想

留学を終えてこの1年間を振り返ってみると、今までの人生の中で一番充実していて、多くのことを吸収できた年になったと実感します。初めは、コロナの影響によりPCR検査や隔離などイレギュラーな事態に対応することに不安もありましたが、実際に行ってみると現地の方も丁寧に対応してくださり、普段は出来ないような事を経験することが出来てむしろ良かったです。

韓国で1年間楽しく過ごせたこともですが、特に自分の中で自信になったことは、後期の正規科目です。私は、韓国で専門的な授業を聞くことが初めてだったので、自分が授業についていけるのか、単位が取れるのかと非常に心配していました。しかし、不明な点はすぐに友達に助けってもらったり、教授に話を聞くことが出来る環境であったため、単位を落とすことなく半学期を終えることが出来ました。韓国で授業を受ける上で、私が目標としていた韓国の政治や経済についても知ることが出来ました。また、語学堂での友達は様々な国の方がいて、国ごとに特色がありとても興味深かったです。語学堂で学んだことにより、韓国への理解を深めるとともに自分の視野が広がるのを感じて、色々な国に行ってみようという気持ちが強くなりました。

夏休みと冬休みに旅行したカンウォンドも印象的です。今まで韓国に行くときは、日数も決まっていたため

ソウルにしか行ったことがありませんでしたが、今回の留学では様々な場所に足を運ぶことが出来ました。カンウォンドは、海が綺麗で自然が多くソウルとは違った風景を楽しむことが出来て感動したのを覚えています。

背中を押してくれた両親や友達、選んでくださった大学がいたからこそ実現できた目標と経験です。これから先も沢山の経験をしたいと思います、その時には今回の留学を思い出して今後活かしていきます。

2. 留学を決めた理由

元々韓国の文化に対して関心が多く語学力も上げたいと思っていました。大学に入学したての1年生の時に、韓国語を教えて頂いた教授の影響もあり、さらに興味が湧き韓国の文化をもっと知るために、現地に住んでみたいと思うようになりました。この時から、成均館大学に長期留学をしたいという思いが強くなっていきました。

しかし、実際1年間の留学をいきなりするというのは自分の中で不安もあったため、まず大学の短期海外語学研修を利用していただきました。その時にホストファミリーの方に成均館大学に連れて行っていただく機会があり、この大学に通いたいという気持ちがより強くなりました。さらに、韓国の文化だけではなく、政治や経済にも関心が多くなり、長期留学を通して実際に韓国の大学で授業を受けたいと思ったことがきっかけで、留学を決めました。

3. 留学先の学び・学習内容(どのようなプログラム、授業の内容、宿題、クラスメイト、先生についてなど)

語学堂(RKP)では、1日4限で月曜日から金曜日まで、1つの授業が65分でした。1限と2限は主に文法を学び、3限と4限では文法で習ったことをもとにスピーキングやリスニングを学びました。試験は中間と期末の2回で、宿題は他の語学堂と比較して少なく、試験前に1度だけライティングの提出があります。私のクラスは、自分を含めて日本人が2人いて他には中国、ドイ



成均館大学



語学堂の友達

ツ、イタリア、チェコなど様々な国籍の学生と一緒に授業を受けていました。

後期の正規科目の授業では、コロナが増加傾向にあったこともありオンラインでの授業でしたが、とても実りのある半学期になりました。不明な点があればすぐ教授に連絡できる手段もあったので不安はありませんでした。実際に学校で授業を受けることは出来ませんでした。オンラインならではの環境もしっかり整っていたので安心でした。

4. 留学先の魅力や出会った人たちとの思い出

正直、コロナで友達が出来ないのではないかと不安でしたが、全くそんなことはありませんでした。寮で生活しながら出来た友達や語学堂と一緒に授業を受けた友達など、今でも頻繁に連絡を取っています。日本にいた時は知らなかった様々な国の文化を知ることが出来ました。成均館大学は、日本人が少ないので主な会話を韓国語で話せる点も非常に良かったです。



友達と坡州旅行



曹溪寺のピンクミューリー

5. 留学のおすすめポイント

旅行では行けない場所に行ってみるのが非常に楽しかったのでおすすめです。自分自身、旅行ではソウルなどの有名所しか行ったことがありませんでした。今回の留学を通して新しい場所にたくさん足を運ぶことが出来ました。そうすることで、知らなかった韓国の街並みや景色を知ることが出来てとても感動しました。特に韓国は山が多く、頂上の方まで登るとソウルの街を見ることが出来るのでおすすめです！

6. 現地での生活について（宿泊先や研修先の雰囲気、一日のスケジュール、週末の過ごし方など）

前期はI - Houseの寮で生活していました。ルームメイトは日本人の子で、趣味嗜好があっていたこともありとても楽しく寮生活を送ることが出来ました。I - Houseは学校のすぐ横にあるので、時間にゆとりをもって行動することが出来ます。平日は9時から15時まで学校に行って語学堂の授業を受けました。授業が終わってからは、時間があつたので友達とソウルのカフェや展示会などに遊びに行きました。週末は、少し遠出をして、韓国のいろんな場所を探索していました。

後期は、夏休みの時点から寮ではなく自分で不動産に行き、部屋を借りて生活していました。不動産の方や大家さんとの韓国語でのやり取りは、自分の中で韓国語に対する恐怖心をなくしてくれるとても良い機会になりました。海外で一人暮らしをするというのは挑戦でもありましたが、大家さんや友達に沢山助けていただきながら無事に生活することが出来て、非常に良い経験になりました。

7. 留学で成長した点

挑戦をするという点で一番成長できたように感じま



江原道の海

す。留学をする前は、新しいことを始めるのに少し抵抗がありましたが、今回の長期留学を通して色々な事に挑戦して新しい知識をインプットすることが出来、非常に充実した1年を送ることが出来ました。

8. 留学する前に準備しておけばよかったこと

留学をする前に語学力をもう少しあげていけば、語学堂でもっと沢山のことを吸収できたのではないかと感じました。しかし、語学堂で詳しく丁寧に韓国語を教えていただけなので、後期の正規科目にも少し安心することが出来ました。正規科目に移っても、難しい韓国語は語学堂の先生に連絡して助けて頂いていたので良かったです。

9. 留学前の自分に伝えたいこと

留学前も割と不安よりも楽しみという感情の方が大きかったのですが、もちろん隔離や履修などの大変な時期もありました。事前にどのような流れで1年を過ごすのかというイメージを持って留学に行くのが良いと伝えたいです。

10. 留学を検討している後輩へのアドバイス

留学前など、なにか新しいことを始めるときは不安が

あると思います。しかし、その時にしかできない経験が沢山あるので、1日1日を充実させて楽しんでほしいです。あまり深く考えすぎずに、やってみようかな？くらいの気持ちで挑戦するのが良いと思います。



友達とピクニック

2021年度 外国語課外講座（英語・韓国語）報告

気軽に外国語を楽しめる「外国語課外講座（英語と韓国語）」を春学期中に実施しました。外部のネイティブの外国人講師による「会話」を中心とした講座で、外国語に対する意識のハードルを下げることを目的としています。講座は少人数制で実施されたため、終始リラックスした雰囲気の中で楽しく外国語を学ぶ機会となりました。

英語講座の参加者からは、「先生も優しく、普段はなかなか出せない大きな声で、たくさん英語を話すことができました。とても楽しかったです！」「文法力や語彙力には大して自信はなかったのですが、知っている単語

だけでも声に出せば意外と通じるのだということが分かり、今後の英語学習への意欲と自信になりました」とのコメントがありました。

韓国語講座では、最新の韓国カルチャーの紹介を交えたレッスンだったため、参加者からは「K-POPの視点から見た韓国のことや、実際に日本人と韓国人の合同グループが講座内に出てきたため、韓国人と日本人の比較ができ、楽しく学ぶことができました」「韓国語習得にあたって、おすすめのYouTubeチャンネルの紹介もあり、勉強に対してのモチベーションが上がりました」



等、参加者の多くが満足された様子でした。

今回の講座は感染症対策を徹底し、対面式で実施したことで参加者同士が一堂に会することができました。特に、韓国語の講座では参加者が多かったため、終了後も

参加者同士で韓国語の話題で盛り上がり、新しい出会いもありました。コロナ禍で交流行事がなかなか実現できない中、対面式の行事の良さを改めて実感しました。

2021年度 グローバルラウンジ（交流会）報告

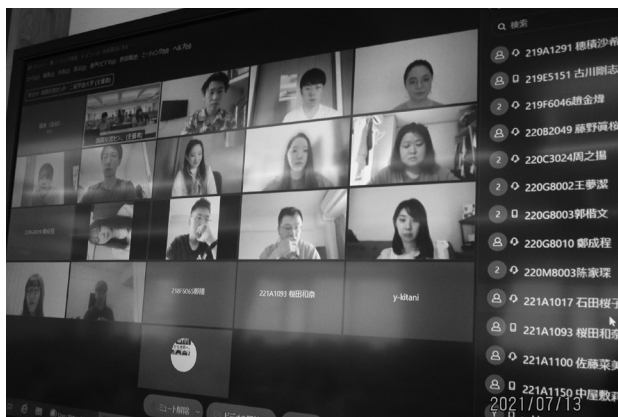
本学初となるグローバルラウンジ（交流会）は、7月13日にオンライン併用にて、30名（うち対面参加は12名）にて開催いたしました。グローバルラウンジとは、本学に在籍する外国人留学生と日本人学生の親睦を深めることを目的として、日ごろの関心事やなにげない日常の気づきなどについて、気軽に話しあう座談会形式の国際交流行事です。学生が主導となって行うこともあり、堅苦しい雰囲気はいっさいなく、初対面同士の学生たちがさまざまな話題で盛り上がりました。

事前に留学生と日本人学生お互いに聞いてみたいことの質問を収集し、当日お互いが交互に回答しました。留学生からは気軽な話題から社会情勢まで広範囲にわたるたくさんの質問がありました。例えば、「コロナのなか、この夏休みを過ごすおすすめプランを教えてください」「大学の近くでおいしい料理屋を教えてください」「コロナで日本経済はどうなると思いますか?」といったものと

なり、その分野が得意な日本人学生が回答していました。

また、日本人学生からは、外国語の学び、日本の良さを伝えたい、お友達になりませんかといった、外国人への素朴な質問から「おもてなし」の精神あふれる問いかけまで、日本人らしさを感じる質問が多くありました。「コロナ禍でのオンライン授業についていけてますか?」、「九段下のたい焼き屋さんおいしいので一緒に行きましょう」「中国語の正しい発音を教えてください」といったものなどとなり、同じ質問にも異なる意見や回答もあり多様性を体感する機会となりました。

規定の時間となり終了したものの、グローバルラウンジ（交流会）に参加した学生たちは、まだまだ話したりしないようで、三々五々散らばりながら、お互いの質問に回答しながら、親睦を深めていました。国際交流センターでは今後もこのようなグローバルな機会を積極的に実施する計画にあります。



2021年度 浙江外国語学院オンライン交換留学プログラム報告

本学グローバル化の一環として、2021年9月から浙江外国語学院オンライン交換留学プログラムを本学初の試みをして実施しました。このプログラムは、国内にいながら中国留学を体験できるもので、浙江外国語学院による中国語の授業をオンラインおよびオンデマンドにて受講することにより、浙江外国語学院の単位も修得することができます。講義は、すべて中国語で行われ、現地大

学の講師から受講者への質問や意見交換等も行われました。また、現地の学生との交流、授業時間中の受講生同士の会話も中国語でのやり取りになるため、参加学生からはオンラインながらまるで中国に留学した雰囲気があるという意見が聞かれました。今年度は文学部の学生5名が参加し、次年度以降も継続して実施する計画です。

受講生からの声を紹介します。「授業はすべて中国語

なので、最初は大変でしたが、2か月を過ぎたころから段々と内容が理解できるようになってきました。読む、話す、聞く、書くを網羅したプログラムなので、バランスよく力がついていることを実感しています。」「日本語を全く使えないので大変ですが、少人数ということもあ



り、特にスピーキングの力がかなり鍛えられていると思います。」

今後も二松学舎大学のグローバル化を推進するため、海外大学の多様な教育機会の提供を実施する予定です。



2021年度 オンライン英会話レッスン（協賛型研修）報告

短期間で英語力向上に効果が高いと定評のあるスパルタ式フィリピン留学マンツーマンレッスンをオンラインにて10月25日～10月29日の5日間で実施しました。昨今、外国語学習の新しい形態として様々な形式の研修（海外教育機関によるオンライン研修等）が開発されています。本学でもこのような新しい学修形態を大学として参加を推奨する「協賛型研修」として本オンラインマンツーマンレッスンを実施しました。

本研修は、在フィリピン語学教育機関（Lolo Online Language Center）によって提供され、日本人学生の英語指導に経験のあるフィリピン人英語教員によるオンライン英会話レッスンです。今回の研修では申込者27名と予想を上回る申し込みがあり、大盛況となりました。事前にレベルチェックテストの結果と目的に合わせて一人ひとりに合わせたカリキュラムが生まれ、毎日2時間、連続5日間の「英語漬け」の学習環境のもと行われました。

研修はオンライン、かつ完全マンツーマン形式で行われたため、人前で英語を話すのに抵抗のある学生でも緊張せずに参加することができたようです。研修を終えた参加者からは、「日本語を全く使わずに人とコミュニケーションを取って笑ったり学んだりできたことに、非常に強い喜びを感じました。」「とにかく5日間があったという間でした。初日より最終日のほうが明らかに自分の意見を伝えることができるようになっていたと感じました。」等の感想を述べられました。実施後のアン

ケートでは、参加者全員が「大変満足」または「満足」と回答され、満足度の高い研修となりました。

国際交流センターでは今後もこのような新しい研修を学生に提供していく計画です。



2021年度 夏期オンライン短期海外語学研修（英語圏）実施報告



オーストラリア サザンクロス大学

国際政治経済学部2年
島田 幸志郎

1. 留学を終えた感想

今回3週間にわたるオンライン留学でしたが、非常に優しく、理解のある先生方ばかりでした。そのため発言する際、言葉に詰まっても親身に対応していただいたこと、また授業では話しやすい環境の中、一人ひとりの発言を肯定的に受け入れていただいたことは今でも感謝しています。

2. 留学を決めた理由

私はリスニングに自信がなく、問題が聞き取れないことも多々ありました。もともと英語は好きな科目でもあり、聞き取る力を伸ばしていきたいと考えていたところ、二松学舎大学の学内連絡にて今回のプログラムを知り、参加することを決めました。

3. 留学先の学び・学習内容（どのようなプログラム、授業の内容、宿題、クラスメート、先生についてなど）

授業では主にオーストラリアに関すること、野生動物、祭り、原住民など多岐にわたって日本と比較しながら学びました。他大学から参加している学生と一緒に過ごしましたが、自ら積極的に学ぼうと授業に参加していた姿は刺激となりました。

4. オンライン留学のおすすめポイント

実際に現地へ行く場合は事前にパスポートや荷造りなどの渡航準備、また現地の食事や文化、気候など適応できるか不安な面もありますが、オンラインの場合その心配がなくなるため、気軽に臨めるところが強みだと思います。

5. 留学で成長した点

ネイティブの発音を聞き取ることが次第に慣れてきたこともありますが、なにより英語で話すときの恐怖心がなくなりました。それにより自ら発言しようと積極的になることができました。また英語ではどのように表現するのか考える力も養われたと思います。

6. 留学する前に準備しておけばよかったこと

何度かオンラインルームの入退室を繰り返す方がいたので、事前にご家庭のWi-Fi環境を確認した方が安心して授業に参加できると思います。また海外の幼児向けテレビアニメなどを聴くことで、ネイティブのリズムにある程度慣れた状態で臨むことができたのではないかと思います。

7. 留学を検討している後輩へのアドバイス

英語のリスニングを伸ばすことを目標としてこのオンライン留学に参加しましたが、それだけではなくオーストラリアの文化や歴史、1時間のホームステイで現地の方と会話する機会などもあり、日々新しい発見で溢れていました。また理解できなかったところがあると先生方も丁寧に説明していただけたので、リラックスして学ぶことができました。一つひとつの経験が楽しく、何ものにも代え難い3週間となりました。いろんなことにチャレンジしたい方は是非挑戦してください。

2022年 春期オンライン短期海外語学研修（英語圏）実施報告



アメリカ サンフランシスコ州立大学

文学部3年
朝倉 藍乃

1. 留学を終えた感想

先生たちと英語でのやりとりをするだけでなく、現地の大学生たちともやりとりすることができ、とにかく会話をする機会が多かったので、ス

ピーキングとリスニングのスキル向上に役立つ留学でした。また、英会話を通じて現地の文化を知ることができてよかったです。

2. 留学を決めた理由

コロナ禍ということで、現地に留学に行けなかったため、オンライン留学をすることを決めました。そして将来、カナダで働くことを考えているので、在学中とにかく英語のスキルを上げたい、コミュニケーション能力や自分の考えを表現できる力を向上させたいと思い参加しました。

3. 留学先の学び・学習内容（どのようなプログラム、授業の内容、宿題、クラスメート、先生についてなど）

週ごとにテーマがあり、そのテーマに関連する知識を英語で学び、それについて先生や現地の学生と話し、週中にそのテーマの専門家である先生の講演を聞き、質疑応答に参加するという大きな流れがありました。最初の週はサンフランシスコが抱える社会的な問題と経済状況、2週目は芸術、3週目はスポーツとエンターテインメントがテーマでした。

先に述べたことにつながりますが、このプログラムでは、毎日、現地のサンフランシスコ州立大学の学生との交流があります。学生たちは自分と年が近いこともあり、話しやすかったですし、わからない単語や表現についても教えてくれたので、とても刺激的な時間を過ごせました。

4. オンライン留学のおすすめポイント

オンライン留学は、遠くの地域の人々と家にいながら繋がることができる点が最大のメリットです。手元に自分が一番使いやすい辞書をおいて、わからないことがあれば咄嗟に調べることができるので、現地にいきなり行って外国語を学ぶよりはハードルが低く、外国語を学ぶ入門編としてふさわしいプログラムだと思います。

5. 留学で成長した点

自分の意見を自信を持って表明できるようになったことが最大の成長した点でした。仮に文法に間違いがあったとしても、臆せず話すことが大事だと気づきました。むしろ間違いをすぐに先生が指摘してくれて、ふさわしい表現を教えてくれたことで、学ぶ機会が増えたので、よかったと感じています。

6. 留学する前に準備しておけばよかったこと

実際に話してみると、自分の会話表現が一辺倒で同じ言い回しを繰り返して使いがちであることに気づきました。同じ意味でも、異なる言い回しのレパートリーを増やせば、もっとスムーズかつより熱意のこもった会話ができたと感じます。

7. 留学を検討している後輩へのアドバイス

事前準備として、文法や単語を学ぶことよりも、外国語を通じて何を学びたいのか、どういう自分になりたいのかをはっきりさせることが重要です。私の場合は、芸術やエンターテインメントについて英語で学びたい、自分が芸術を見て感じたことを伝えられるようになりたいという目標を立てて、留学に参加しました。

2022年 春期オンライン短期海外語学研修（韓国語圏）実施報告



韓国 高麗大学校

文学部3年
尾楠 真帆

1. 留学を終えた感想

一ヶ月という短い期間ではありましたが、韓国語の発音、読むスピード、文章の構成力などが始まる前と比べて上がったと思います。正直、オンライン授業だけで身に付くかな…と感じていましたが、私にとってはかなり韓国語の実力をアップさせるのに繋がりました。現地に行く留学とは違って、友達と同じ空間で勉強が出来たり、距離を縮めたりなど、そういったことはあまり出来ませんでした。オンラインだからこそ隙間時間などを有意義に使って、学習に取り組めたかなと思います。

2. 留学を決めた理由

最近では新型コロナウイルスの感染拡大により、韓国に行くことができず、韓国語で会話する機会もほとんどなくなってしまったため、今回のオンライン研修を通して自

分の韓国語の実力をさらに向上させたいと思い、参加を決めました。

3. 留学先の学び・学習内容（どのようなプログラム、授業の内容、宿題、クラスメート、先生についてなど）

オンライン研修が始まる前はzoomでクラス分けテストを行いました。時間は10分ほどで、内容は簡単な自己紹介、韓国語を勉強し始めたきっかけ、自分が就きたい職業、自分の健康管理方法など、内容は様々でした。後になって分かったことですが、クラス分けテストで聞かれた内容の多くは教科書の内容に沿ったものでした。生徒の実力を測るためにクラス分けテストの他にも韓国語で書いた自己紹介文を提出するのですが、それはクラス分けにあまり影響がなく、クラス分けテストでの受け答えでクラスが決まるといった感じでした。クラスが決まった後はテキストを購入し、授業はテキストに沿って進められました。私がいたクラスは7名ほどで全員日本人でした。ブレイクアウトルームで友達と会話することも多かったのですが、韓国ドラマやKPOPの話など毎回盛り上がりました。先生は2人いて、交互に授業を行っていました。先生方は、毎回明るく授業を進行して

下さり、韓国語だけにとどまらず、韓国国内で流行っているドラマや言葉なども教えてくれたりしたので、授業に対する負担は一切なかったです。今回私は希望しませんでした。オンラインでもトウミ制度があるみたいです。韓国にいる学生が韓国語学習をサポートしてくれる制度ですが、韓国の学生と連絡を取り合いながら授業を受けるのはもっと楽しいかも知れません。

4. オンライン留学のおすすめポイント

他言語を身に付けるのに重要なのは、環境づくりと繰り返し行うことだと思います。そうしなければ、言語はどんどん忘れていきます。大学での韓国語の授業が終わってからオンライン研修が始まる前まで何もしなかった私が良い例です。その時、私は韓国語の実力がどんどん落ちていくのが目に見えて分かりました。こうした悩みを解決してくれたのが今回のオンライン研修でした。もちろん、独学で他言語を身に付ける人も大勢いるとは思いますが、私は自分の力だけで身に付けられるほど器用ではないので、今回のオンライン研修のような、常に韓国語だけを耳にし、韓国語だけで受け答えをするという環境が私にとっても合っていました。それと私は韓国語で話す時によく緊張をしてしまうのですが、オンラインだとやはり、画面上での会話になるので緊張はさほどしませんでした。あとは、やはり語学堂の先生の授業は本当に分かりやすいです。様々な状況を例に挙げて文法の説明してくれるので理解度が毎回高かったです。オンラインであれば、パスポートもビザも必要ないので一度語

学堂の先生の授業を聞ける良い機会かもしれません。

5. 留学で成長した点

イントネーションが前より良くなったかなと思います。一人でイントネーションの改善はなかなか難しいです。しかし、先生たちは綺麗な韓国語、また適度な抑揚をつけて話してくれたので、それを直接真似するような形で発音の仕方を取り入れていきました。

6. 留学する前に準備しておけばよかったこと

正直、もう一つ上のクラスに行けたかなと思いました。もう一つ上のクラスに行って自分の韓国語がどれだけ通用するか確かめたかった気持ちもありました。そのため、知っている単語を増やして、自分のボキャブラリーを豊富にした状態でオンライン研修に参加できていたら、もっと授業内で積極的に自分の意見が言えていたのかなと思います。言いたいことは頭の中でまとまっているのに、韓国語で何と何と忘れてしまって、上手く伝えられなかったということが何度かありました。

7. 留学を検討している後輩へのアドバイス

今回はコロナウイルスにより、直接韓国に行くことは出来ませんでした。オンラインでも韓国語だけの空間を作れるので、かなりの収穫がありました。現地に行って留学することが何より一番だと思いますが、この先もコロナウイルスが収束の兆しが見えなければ、オンラインで検討してみるのもいいかもしれません。

新型コロナウイルス感染症にともなう 入国制限および海外派遣留学の状況について

昨年度に続き、2021年度も新型コロナウイルス感染症に関する水際対策措置にともない、海外に居住する外国人留學生の新規入国は停止した状況が続きました。本学だけでなく、多くの外国人留學生が来日できないまま、2021年度の学期が終了することとなりました。2022年3月、本邦政府は入国制限の緩和を発表し、新規の外国人留學生の来日が再開される計画にあります。

現在、本学留學生の海外への派遣留学は実施しており、2021年度は韓国への派遣留学が実施されました。来年度も、中国、台湾、韓国およびオーストラリアへの派遣留学が実施される計画にあります。

国際交流センターからのお知らせ

国際交流センターでは、「交換留学・海外語学研修」、「外国人留學生と日本人留學生との交流活動」、「外国語の学び」、「外国人留學生の生活相談」の実施などを行っております。海外渡航に制限があるコロナ禍においては、新しいオンライン型の留学等、多様なプログラムを留學生に提供しています。

国際交流センターの紹介動画を作成いたしました。本学サイト内にてご覧いただくことができます。

www.nishogakusha-u.ac.jp/international

◇本誌へのご意見・ご感想をお寄せください。 E-mail: icenter1@nishogakusha-u.ac.jp